

平成 29 年度経営発達支援事業評価書

愛南町商工会
平成 30 年 3 月

経営発達支援事業の計画期間（平成 29～33 年度）において、毎年度、年 1 回以上の事業評価委員会を開催し、事業実施状況を報告、事業評価に関する意見・提言を得て、次年度以降の事業内容を P D C A サイクルにより改善することになっている。

平成 29 年度経営発達支援事業の実施状況及び事業評価委員会の評価、意見、提言は以下のとおりである。

1 概 況

- (1) 経営発達支援計画認定日 平成 29 年 3 月 17 日
- (2) 伴走型小規模事業者支援推進事業費補助金関係
 - ①交付申請日 平成 29 年 5 月 31 日
 - ②交付決定日 平成 29 年 6 月 8 日
 - ③交付決定額 金 1,339,340 円
 - ④補助事業の期間 平成 29 年 6 月 8 日～平成 30 年 2 月 28 日
 - ⑤交付確定額 金 1,286,575 円

2 実施事業の内容等

1. 地域の経済動向調査に関すること	
①小規模事業者経済動向調査の実施	
事業目的等	地域小規模事業者が抱える課題を大局的に把握し、経営計画策定の基礎的資料として役立て、広い入口的支援として実施する。

<p>事業内容</p>	<p>○商工会役員事業所を年４回（四半期ごと）調査</p> <p>第１期（平成 29 年 4～6 月期）</p> <p>実施時期 平成 29 年 7 月</p> <p>調査事業所数 25 件</p> <p>（製造業 4 件、建設業 5 件、小売業 7 件、サービス業 9 件）</p> <p>第 2 期（平成 29 年 7～9 月期）</p> <p>実施時期 平成 29 年 10 月</p> <p>調査事業所数 25 件</p> <p>（製造業 4 件、建設業 5 件、小売業 7 件、サービス業 9 件）</p> <p>第 3 期（平成 29 年 10～12 月期）</p> <p>実施時期 平成 30 年 1 月</p> <p>調査事業所数 25 件</p> <p>（製造業 4 件、建設業 5 件、小売業 7 件、サービス業 9 件）</p> <p>第 4 期（平成 30 年 1～3 月期）（予定）</p> <p>実施時期 平成 30 年 4 月</p> <p>調査事業所数 25 件</p> <p>（製造業 4 件、建設業 5 件、小売業 7 件、サービス業 9 件）</p>
<p>2. 経営状況の分析に関すること</p> <p>①経営振返りシートによる経営分析の実施</p> <p>②財務分析の実施</p>	
<p>事業目的等</p>	<p>○経営の可視化により「自社を知り自社の中の何かに気付いてもらう」ことに重点をおく。</p> <p>○「自社(自店)を知り自社(自店)の中の何かに気付いてもらう。」ことを目的として捉える。</p> <p>○今後の自社(自店)の経営力向上を図るための貴重なデータとする。</p>

事業内容	<p>①経営振り返りシートによる経営分析</p> <p>【目標】 9件（経営指導員3人（1人3件））</p> <p>【実績】 5件</p> <p>②財務分析</p> <p>【目標】 16件（経営支援員5人（1人3件）） （記帳指導職員1人（1人1件））</p> <p>【実績】 0件</p>
<p>3. 事業計画策定支援に関すること</p> <p>①事業計画策定セミナーの開催</p> <p>②BCP（事業継続計画）作成セミナーの開催</p>	
事業目的等	<p>「もう一段経営力を向上しませんか。売上アップ、収益アップを考えてみませんか。」から小規模事業者に入り、経営実績に関わらず事業計画を作成すること、作成した事業計画書を検証することの必要性を意識付け、継続的支援を行う。</p>
事業内容	<p>①事業計画策定セミナー</p> <p>日程：平成29年9月11日（月）・13日（水）〔全2日間〕 ≪両日とも19時～21時の2時間≫</p> <p>講師：上野経営事務所 代表 上野敬治氏（中小企業診断士） 場所：愛南町商工会本所 出席者：11名（初回）、8名（2回目） 費用：伴走型小規模事業者支援推進事業費補助金活用 計画策定目標：9件 計画策定実績：5件</p> <p>②BCP（事業継続計画）作成セミナー</p> <p>日程：平成29年10月14日（土） ≪18時～21時の3時間≫</p> <p>講師：(株)アテナソリューション 代表取締役 立石裕明 氏 場所：愛南町商工会本所 出席者：5名 費用：伴走型小規模事業者支援推進事業費補助金活用 計画策定目標：3件 計画策定実績：0件</p> <p>※会員宛開催案内郵送料：伴走型小規模事業者支援推進事業費補助金活用</p>

<p>4. 事業計画策定後の実施支援に関すること</p> <p>①事業計画策定事業者及びBCP作成事業者への定期的なフォローアップの実施</p>	
事業目的等	<p>事業計画策定事業者及びBCP作成事業者に対して定期的な接点を有し、計画の成果効果に目を向けて経営状況を把握し、PDCA(計画・実行・評価・改善)サイクルにより管理的支援に重点をおく。</p>
事業内容	<p>事業計画策定事業者</p> <p>【目標】 9件延36回(年4回四半期ごと)</p> <p>【実績】 5件延6回</p> <p>BCP作成事業者</p> <p>【目標】 3件延12回(年4回四半期ごと)</p> <p>【実績】 0件延0回</p>
<p>5. 需要動向調査に関すること</p> <p>①巡回訪問時における聞き取り調査の実施</p> <p>②一般消費者の需要動向に関する調査(アンケート調査等)の実施</p>	
事業目的等	<p>小規模事業者にとって実践的で実需の期待できる旬なトレンド情報を個別に提供する。</p>
事業内容	<p>①巡回訪問時における聞き取り調査</p> <p>【目標】 25件(経営分析及び財務分析実施事業者)</p> <p>【実績】 5件</p> <p>②一般消費者の需要動向に関する調査(アンケート調査)</p> <p>○愛南まるごち秋の味覚祭</p> <p>実施日時：平成29年10月15日(日)</p> <p>8時30分～12時00分</p> <p>実施場所：(株)レクザム愛南工場敷地内</p> <p>(愛南町広見2500-1)</p> <p>調査対象：イベント来場者228名(ランダム)</p> <p>調査方法：来場者に依頼しアンケート調査票に本人が直接記入</p>

	<p>○地元大型店買い物客</p> <p>1回目（フジ南宇和店） 実施日時：平成29年12月6日（水） 13時30分～16時00分 実施場所：フジ南宇和店（愛南町城辺乙544） 調査対象：来店者100名（ランダム） 調査方法：来場者に依頼しアンケート調査票に本人が直接記入</p> <p>2回目（A-MAX愛南店） 実施日時：平成29年12月7日（木） 13時30分～16時00分 実施場所：A-MAX愛南店（愛南町御荘平城791-1） 調査対象：来店者100名（ランダム） 調査方法：来場者に依頼しアンケート調査票に本人が直接記入</p>
<p>6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること</p> <p>①販路開拓支援の強化</p> <p>②ホームページリニューアルによる商品（企業）紹介の強化</p>	
<p>事業目的等</p>	<p>事業所の商品・サービスのブラッシュアップと経営環境改善への支援を行い、反復、継続して購入される商品・サービスを目指し、売上・利益の維持、向上に繋げる。</p>
<p>事業内容</p>	<p>①販路開拓支援（展示会・商談会及びアンテナショップ等への出展支援）</p> <p>【目標】2事業者</p> <p>【実績】下記のとおり2事業者の出展支援を実施</p> <p>○「えひめが誇るすご味・すごモノ商談会」</p> <p>日時：平成30年1月19日（金）10：00～16：00</p> <p>場所：松山全日空ホテル</p> <p>内容：バイヤー40社程度（県外30社・県内10社）との個別商談・商品展示・事業者交流</p> <p>主催：愛媛県営業本部・愛媛県商工会連合会</p> <p>出展業者：町内2事業者</p>

	<p>②ホームページリニューアルによる商品（企業）紹介</p> <p>事業者個々にスポットを当てた企業紹介ページを商工会ホームページのトップページに掲載することで企業の信用力を向上させ、製造・販売する商品を企業のストーリーと共に紹介し、企業イメージを印象付ける。</p> <p>※リニューアル後のホームページ：https://ainan.info</p> <p>平成 30 年 3 月公開</p>
<p>Ⅱ. 地域経済の活性化に資する取組</p> <p>①地域観光振興イベントへの参加出店の支援</p> <p>②個店探索マップの作成</p>	
<p>事業目的等</p>	<p>当町の観光振興イベントや地域特産品等PR活動、地域情報発信等を通じて、交流人口増加及び滞在時間増加を図ることで、地域における小規模事業者の経営環境向上に寄与する。</p>
<p>事業内容</p>	<p>①地域観光振興イベントへの参加出店</p> <p>【目標】2事業者</p> <p>【実績】下記のとおり2事業者の出展支援を実施</p> <p>○ぎゅぎゅっと愛南！夏の陣</p> <p>日時：平成29年5月28日（日）</p> <p>場所：愛南漁業協同組合御荘支所</p> <p>出展業者：町内2事業者</p> <p>②個店探索マップの作成</p> <p>平成30年2月1日発行</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 手に取ってもらえるようデザインされた表紙 2. 町巡りが楽しくなる愛南町探索マップを見開きページ 3. 町内の名所20選を選定し紹介するページ全7ページ 4. 地場製品の購入できる個店を紹介するページ全11ページには事業者の写真を掲載し、より深みのあるページとした。 5. 愛南町へのアクセスマップと商工会HPとFacebookページの案内を掲載した裏表紙。 <p>◎裏表紙には、本マップの需要を図る数値として使用する為の景品プレゼントを掲載。</p> <p>※製作費：伴走型小規模事業者支援推進事業費補助金活用</p>

Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

事業内容	<p>1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること</p> <p>○愛媛県商工会職員協議会南予支部職員研修</p> <p>日程：平成30年1月23日（火）</p> <p>場所：吉田三間商工会</p> <p>内容：①商工会を取り巻く環境の変化と商工会の役割について</p> <p>②商工会業務の事例研究・意見交換</p> <ul style="list-style-type: none">・経営発達支援計画、伴走型小規模事業者支援推進事業について・小規模事業者持続化補助金事業について・講習会、税務支援、共済推進等について <p>参加者：経営指導員3名、経営支援員3名、記帳指導職員1名</p> <p>2. 経営指導員等の資質向上等に関すること</p> <p>○平成29年度商工会組織における職員の資質向上研修</p> <p>日程：平成29年7月25日（火）～26日（水）（前期） 平成29年12月19日（火）～20日（水）（後期）</p> <p>場所：東京都</p> <p>主催：全国商工会連合会</p> <p>内容：①事例発表と質疑応答・グループワーク</p> <ul style="list-style-type: none">・持続化補助金、経営革新計画、ものづくり補助金、海外展開支援等先進的な取組及び伴走型支援に求められる資質等 <p>参加者：経営指導員1名</p> <p>○中小企業基盤整備機構支援担当者向け研修</p> <p>日程：平成29年12月12日（火）～14日（木）</p> <p>場所：東京都 中小企業大学校</p> <p>内容：広報の基礎知識を学び、自社で計画的にプレスリリースを行うことができる手法を習得し、販路開拓に繋がるメディア広報戦略と、費用を掛けずに販路拡大を図るための手法と手順を習得することで、即効性のある支援能力を向上させる。</p>
------	--

①広報の基礎知識の習得

②プレスリリースの作成演習

③販路開拓に繋がる広報年間計画の作成と情報発信

参加者：経営指導員 1名

3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

◎愛南町商工会経営発達支援計画事業評価委員会

【第1回】

日程：平成29年6月28日（水）

場所：愛南町商工会本所

内容：①委嘱状交付

②議題

- ・経営発達支援計画事業評価委員会設置要綱について
- ・経営発達支援計画について
- ・伴走型小規模事業者支援推進事業について

参加者：委員9名、平田会長、事務局

【第2回】

日程：平成30年2月14日（水）

場所：愛南町商工会本所

内容：①議題

- ・経営発達支援計画の実施状況について
- ・経営発達支援事業の評価及び見直し等について

参加者：委員9名、事務局

※開催費：伴走型小規模事業者支援推進事業費補助金活用

3 事業評価委員会の評価及び意見・提言

- 愛南町商工会経営発達支援計画の数値目標は、この5年間で町内1,000社の小規模事業者の内、その20%である200事業所の経営支援を行うことである。具体的には、経営振り返りシートによる経営分析、財務分析、事業計画及びBCPの策定支援などの具体的な経営力向上に結びつく実績が必要となる。
平成29年度については、事業実績で示したように目標達成に至っていない項目もあるが、「伴走型小規模事業者支援推進事業費補助金」を活用した事業計画策定セミナーやBCP作成セミナーの開催、更には個店探索マップの作成やホームページのリニューアルなど目的達成のためのシステム作りができたことは評価できる。
- 事業計画策定セミナー及びBCP作成セミナーの出席者が当初の計画に届かず、それに比例して計画策定実績も目標を下回っている。意欲のある若手経営者の掘り起こしなど、周知方法や委員自らの声掛けなどが必要ではないか。
- 一般消費者の需要動向に関するアンケート調査の内、地元大型店買い物客対象分については、対象者が町内在住の中高年の女性に固定化してしまう傾向があるので、来年度事業を再検討してもよいのではないか。
- 個店探索マップの作成については、今年度の掲載実績が20店舗、来年度の目標は100店舗となっている。事業の補助金申請が認定される見通しも立たないことから、目標数を再検討してもよいのではないか。
- 一般消費者の需要動向に関するアンケート調査や個店探索マップの作成事業の見直し等で業務の簡素化・省力化を図り、今年度に目標達成できなかった「経営分析、財務分析、事業計画策定及びBCP作成」の実績アップや販路開拓支援の強化を進めるべきではないか。

4 今後の取り組み

上記の意見・提言を踏まえ、平成30年度当初に経営発達支援計画事業評価委員会を開催して、事業の見直しを進めながら効果的な事業実施を推進していく。